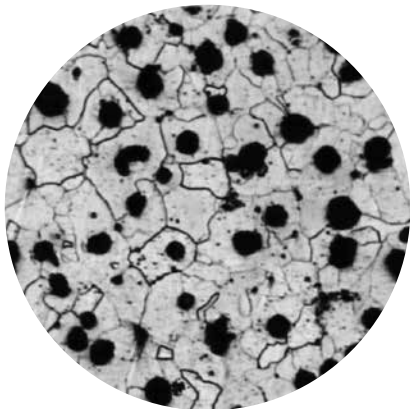


柔軟で高強度なダクタイル鋳鉄製 強靱バルブ

蒸気、高温水、油、ガスなど水や空気などの流体に比べて「危険性の高い」流体や「高温・高圧」流体には、ダクタイル鋳鉄製バルブをお奨めします。

東洋 ダクタイルバルブの材料は、「球状黒鉛鋳鉄品」(JIS G5502)及び「ダクタイル鉄鋳造品」(JIS B8270-1993)として、特に靱性を改善した鋳鉄材料です。
一般的に、蒸気、高温水、油、ガスなど水や空気などの流体に比べて「危険性の高い」流体や「高温」流体には、鋳鋼やステンレス鋼などの鋼材(ハガネ)製バルブを利用しますが、これらの鋼材は、価格が高いことが難点です。
ダクタイル鋳鉄は、「鋼」の持つ強靱さと「鋳鉄」の持つ経済性とを併せ持った優れたバルブ材料です。当社のダクタイルは、「压力容器の構造」JIS B8270-1993「压力容器の構造」で一定以上の球状化率が規定される「FCD-S」を採用しています。



ダクタイル鋳鉄の金属組織

ダクタイルバルブは、消防法に規定される「危険物貯蔵タンク元弁」として使用できます。

消防法に規定される「危険物の規制に関する政令」では、屋内外の危険物貯蔵タンクの元弁として使用するバルブは、鋳鋼製と定めていますが、昭和42年5月20日自消内予発第32号通達により、ダクタイル鋳鉄製バルブも鋳鋼製と同等以上の性能があるものと認められており、この設備の元弁として法規上利用することができます。

活躍するダクタイルバルブ

